

西原高校、バレーとバスケットで活躍

第32回小橋川寛杯争奪高校生バスケットボール選手権大会で、西原高校女子バスケットボール部が準優勝に輝きました。また、KBC学園杯第62回全沖縄高校冬季バレーボール選手権大会で、同校の男女バレーボール部がともに準優勝しました。この結果、2月に長崎県で開催された九州大会に出場しました。

また、西原町人材育成会（上間明会長）は派遣費用の一部を助成しています。



チームを代表して助成金を受ける
西原高校女子バスケットボール部(左)と女子バレーボール部(右)

川満さん、女子サッカーの 県選抜メンバー入り！

宇栄原FCでプレーする川満綺さん(西原小6年)が、第21回神奈川女子選抜招待サッカー大会に出場する沖縄県選抜に選出され、2月に開催された同大会に出場しました。



川満綺さん(写真中央)

また川満さんの県外派遣に対し、西原町人材育成会(上間明会長)は派遣費用の一部を助成しました。

老人クラブ連合会が展示会を開催

西原町老人クラブ連合会(屋良朝光会長)が主催する第5回作品展示会が、2月26日から28日の3日間、西原町中央公民館で開催されました。

今回の展示会には、各自治会の老人クラブなど15団体が出品。アクセサリやかばんなどの実用品、切り絵、パッチワークなどの手工芸品のほか、野菜や漬物など、趣向を凝らした約150の手作りの品が並び、訪れる人の目を楽しませました。



まちの話題

2013

小中学校に図書費を寄附

次代を担う町内の若者や青少年の支援に取り組んでいるNPO法人西原町人づくり支援の会(新川武雄理事長)が、町立小中学校6校に対して図書費の寄附を行いました。同法人はこれまで16年にわたって小中学校に寄附を実施しています。

2月27日には西原南小学校で本の贈呈式が行われ、児童を代表して児童会の役員が本の贈呈を受けました。新川理事長は「小中学校の時期に読んだ本は将来まで残る。たくさん本を読んで、大きく羽ばたいてほしい」と児童



絵本を贈呈しました

を激励し、児童会長の新垣隆太くん(6年)は「図書館に行くのがもっと楽しみになりました。一冊一冊を大切にします」とお礼を述べました。

英語と方言が学べる！ 中学校に本を寄贈

英語と方言を学ぶために作られた本「FRIENDSHIP」を執筆した比嘉直秀さんが、2月13日に西原町教育委員会を訪れ、町立の2中学校に同書を80冊贈呈しました。

同書は「家族」「からだ」などの単語のほか、日常で使う英会話の和訳を沖縄方言で表現しています。比嘉さんは高校で英語を教えていた経歴があり、約3年の期間で書き記したそうです。執筆にあたっては「自分が生活している中で使う言葉を掲載し、方言は努めて敬語で表現した」と説明しました。

贈呈を受けた小橋川明教育長は「本町ではしまくとぅば普及啓発運動に取り組んでおり、徐々に機運が高まっている。授業をはじめ、有効な活用を考えたい」と感謝を述べました。



本を寄贈した、著者の比嘉直秀さん(右)

JAおきなわ西原支店で まつりを開催

JAおきなわ西原支店が主催する「第1回JAおきなわ西原支店まつり」(後援、西原町ほか)が、2月22日に西原町役場駐車場で開催されました。天気にも恵まれたこの日は、多彩なイベントが行われ、多くの方が会場を訪れました。

まつりは西原東中吹奏楽部の演奏で華やかに幕開けしました。販売コーナーでは、町内で生産された農産物や県産和牛、ヤギ汁、牛汁や手作りの加工品などが販売されました。またステージでは愛和保育園の園児によるエイサーや、我謝伝統芸能保存会の獅子舞の演奏のほか、ニガナジュースの早飲み大会、苗の無料配布などが催されました。



映像を通して西原の 「いいね」を見つけよう

映像を通して西原の「いいね」をたくさん見つけ、町の活性化と観光PRにつなげることを目的に、「いいね、にしたら映像祭」が3月2日にサンエー西原シティで開催されました。

このイベントは2部構成で行われました。前半の特別上映会では「にしたら子ども放送局」1期生が制作した動画4本(広報にしはら3月号既報)が上映されました。来場者からは「とても勉強になる」や「シマナーについて初めて知った」などの感想が聞かれました。

後半の動画コンテストでは、多数の応募作品の中からノミネートされた3作品が上映され、上間明町長をはじめとする10人が審査しました。グランプリには「わたしの『いいね!』とつながるまち、西原町」を制作した「フタリノ×2源色」のチームが受賞しました。

今回の動画はすべて西原町公式動画「さわふじチャンネル」で公開し、町のPR動画として活用しています。ぜひご覧ください。



グランプリを受賞した「フタリノ×2源色」(左から3名)

子どもたちの安全・安心のため、 協定を締結



子どもを対象にした犯罪の被害防止を図るため、浦添警察署と西原町教育委員会、浦添市教育委員会との間で「子どもを犯罪から守る学校ゆいまる制度」協定を

結ぶことになり、協定書の調印式が2月25日に浦添警察署で行われました。

本協定は、浦添警察署と教育委員会、町立幼稚園と小中学校の連携強化を目的としており、子どもたちへの声かけやつきまといなどを犯罪前兆事案として位置づけ、情報交換や相互連絡などに取り組むものです。

協定の締結にあたり、平良英喜署長は「関係機関と連携し、子どもたちを対象にした事件、事故を未然に防ぎ、安全を守りたい」とあいさつしました。また小橋川明教育長は「これまでも個々の事案に対して対策を講じてきたが、このたび体制が確立し、組織的な対応が取れる」と、連携の効果に期待を寄せました。

水道週間の作文と標語の表彰式

水道について理解と関心を高め、公衆衛生の向上と生活環境の改善、水道事業の発展に資することを目的として「第55回水道週間」の関連事業として実施された、「平成25年度西原町水道週間作文・標語表彰式」が、2月25日に西原町役場で行われました。作文・標語の募集は、町立小学校に通う4年生を対象に行われ、それぞれの部門で1名が最優秀賞、3名が優秀賞を受賞しました。

式にあたって上間明町長は「作文や標語を考える際に、水の尊さや大切さを感じてくれたと思う。その思いを、学校や家庭で広く知らしめてほしい」と、受賞者を激励しました。受賞者は、以下の通りです



【作文の部】

- 最優秀賞：古見優風(西原小)
- 優秀賞：小橋川菜摘(西原小)
金城和葉(西原東小)
根間泳唯雅(西原南小)

【標語の部】

- 最優秀賞：佐事妃菜(西原南小)
- 優秀賞：玉城佑香(坂田小)
吉長愛華(西原小)
半仁由智哉(西原東小)

(敬称略)